広報かわち Kawachi

2020
No.610

town public relations

謹賀新年

～金色に光輝く一年に～

河内町議会議員一同

河内町役場職員一同

’19年広報かわちバックナンバー

★2019年の広報かわちを再現してみました★

広報かわち Kawachi

編集・発行　河内町役場秘書広聴課
〒300-1392　茨城県稲敷郡河内町源清田 1183
ホームページアドレス　http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/
モバイル版アドレス　http://www.town.ibaraki-kawachi.lg.jp/mobile/index.html

河内町モバイルホームページ QR コード
※ QR コードは読みとれない場合もありますのでご了承ください。

誰もが希望の持てる
公平な町づくりを目指して

河内町長
雜賀 正光

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい初春を心も新たにお迎えのことと、お喜び申し上げます。新しい年が皆様と河内町にとりまして素晴らしい年になりますよう、心から願っております。

新しい天皇陛下が即位されまして、初めての新年を迎えました。平成最後となりました昨年の四月三十日、私たちは、退位の儀式に臨まれた前の天皇陛下の姿を見届け、過ぎてゆく平成の時代を振り返り、同時に新天皇陛下即位に伴う一連の儀式をとおして、わが国の歴史と伝統の重みに改めて思いをはせました。

天皇陛下の即位と同時に、元号も「令和」と改まりました。元号は、国民の長い伝統と国民の幸福への願いとともに、千四百年近くにわたるわが国の歴史を紡いできました。新しい元号も、広く国民に受け入れられ、私たちの生活の中に深く根ざしていきますことを、心から願いたいものです。

昨年開催されたラグビーワールドカップで、七か国の出身者で構成された日本代表は、強豪チームを相手に「ONE TEAM（ワンチーム）」をスローガンに一丸となって初のベスト8進出を果たし、日本列島を熱狂させました。ファンの熱い声援やおもてなしの細やかさに外国のチームがお辞儀で応え、また、台風で被害を受けた地でボランティア活動に参加するなど、爽やかな印象を残した大会ともなりました。

そして、本年は、いよいよ東京五輪・パラリンピックが開催されます。外国からやってまいります大勢の選手団・観光客がもたらす経済効果も期待されるところですが、日本は素晴らしい国だったと言って帰っていただける、記憶に残る大会となるよう祈りたいものです。

平成の三十年間の激変は、江戸時代の三百年に相当すると言われています。その最たるものは、今日の自治体が直面しています少子高齢化・人口減少社会の到来です。人口の減少がこのまま進んでいきますと、生活関連サービスの縮小や地域コミュニティの崩壊など、様々な形で私たちの生活に影響を及ぼしてきます。

どのような社会情勢下にありましても、地方自治体の果たすべき役割は、住民の恒久の福祉向上です。そのために、町は解決しなければならない様々な問題に取り組んでいかなければなりません。限られた予算の中で、町が少しでも賑わいをみせるようにするためには、町が「ONE TEAM」一丸となって「持っている資源」を有効に活用し、さらに磨きをかけていくことが重要ではないでしょうか。

令和には、厳しい寒さの後に咲く梅の花のように、一人ひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そういう日本でありたいとの願いが込められています。この願いのように、住民一人ひとりが希望を持ち、それぞれが美しい花を咲かせることができる古里であるよう、これからも皆様のお力添えを得まして、より一層の努力をしてまいります。

皆様におかれましては、この一年をご健康で過ごされますようお祈り申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

河内町議会議長
野澤 良治

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい令和初の新春を健やかにお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。また、平素より町議会並びに町政に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、天皇陛下が退位され、平成時代が幕を降ろし、「人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」という意味が込められているとの令和時代がはじまり、日本中にお祝いムードが広がり、「令和フィーバー」ともいえる動きで盛り上がりました。

また、レスリング女子の吉田沙保里選手、横綱の稀勢の里、メジャーリーガーのイチロー選手等が引退していく中、女子ゴルフの渋野日向子選手が、日本勢42年ぶりの快挙となる初参戦ながらの海外メジャー制覇、開催国の重圧をはねのけ、日本はもとより、世界中を熱狂させた「ONE TEAM」を合言葉に桜の戦士たちの快進撃によるラグビーワールドカップ日本大会は、私たちに元気、夢と希望を与えてくれました。そして、カナダ代表の被災地ボランティア活動等ノーサイド精神にも心を強く打たれました。

今年は、東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。日本全体の地域経済が活性化し、さらに元気になることを期待してやみません。

一方で、自然災害が猛威を振るい、9月に関東では観測史上最強と呼ばれた台風15号が首都圏を直撃し、千葉県を中心に暴風や停電による甚大な被害をもたらし、当町においても停電や建物等の被害が多数発生しました。また、復旧に水をさすように、10月には、台風15号の約10倍もの大きさの台風19号が直撃し、関東地方の雨量、風速が観測史上最高の記録を更新するなど13都県にわたり、多数の河川が氾濫しました。当町においても、利根川の氾濫警戒による避難準備が発令されるなど、多くの地域で大規模な浸水が発生し、かつて経験したことのない災害が続きました。この災害での教訓を無駄にしないこと、そして被害にあわれた方々には、一日でも早く元の生活に戻れますよう心から祈念いたします。

本町において、引き続き取り組まなければならない課題は山積みしております。特に少子高齢化が進行していく中、子育て支援対策の充実、若者の定住促進が急務となっており、若者が定住したいまちとなるよう、子育て環境の充実など住民のニーズに応えるため、より一層の対策も講じなければなりません。

かわち水と緑のふれあい公園において、イルミネーションが飾られるようになり、冬の新たな風情として大変な賑わいをいただいているようで、昨年は「イルミネーション婚inかわち」も開催され、カップルも誕生したとのことであり、とても素晴らしいことだと思います。

我々議会一同、めまぐるしく変わる社会情勢を勘案しながら問題意識を共有し、町民の皆様の信託に応えられますよう努力を重ねてまいる所存であります。

どうか今年も、相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、新年のごあいさつといたします。